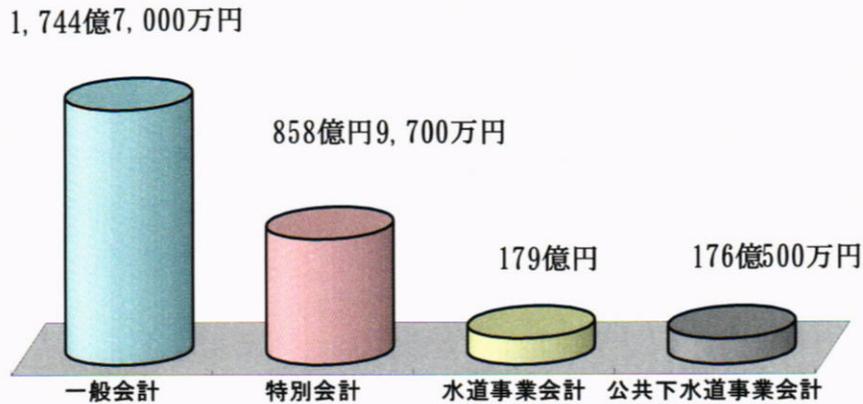


## IV大分市の予算

### 1. 平成24年度予算（当初予算）の概要

総額 2,958億7,200万円



平成24年度の一般会計の予算は、1,744億7,000万円となっています。これに特別会計、水道事業会計、公共下水道事業会計を合わせた全会計の予算規模は、2,958億7,200万円です。前年度6月（肉付）補正後予算と比べて5.3%増加しています。

#### 【一般会計】

大分市の会計の基本をなすもので、行政運営の基本的な経費や政策的経費が計上されています。

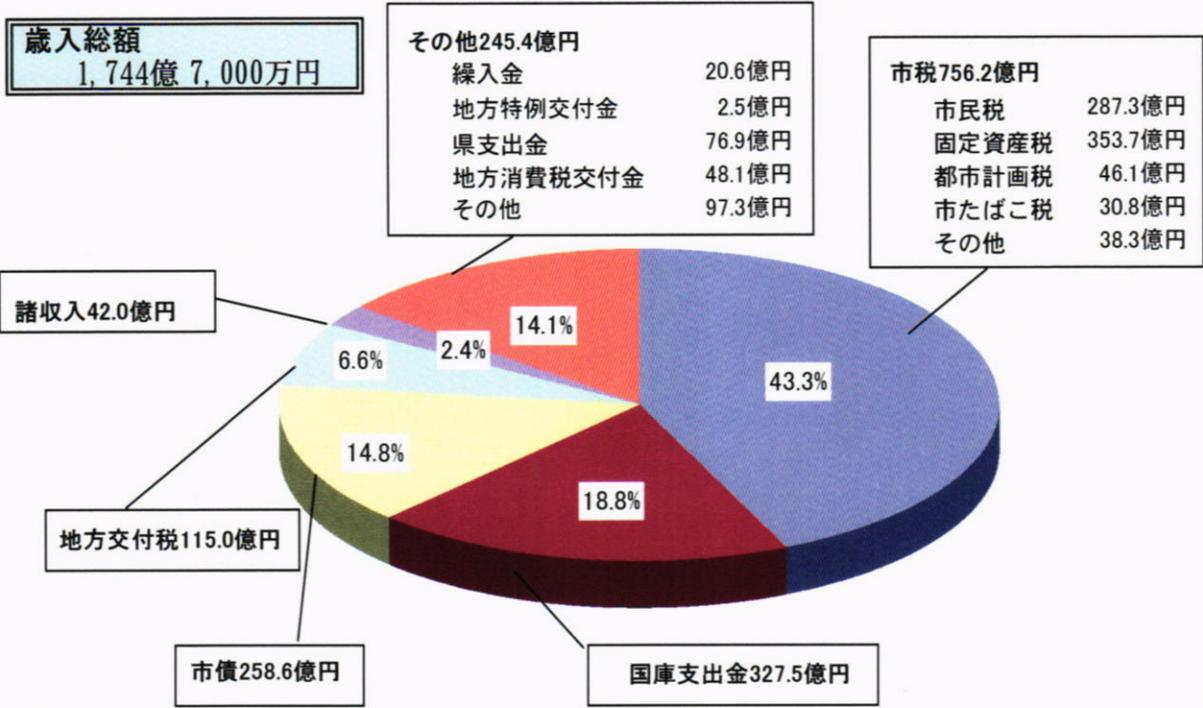
#### 歳入

歳入の主なものは、市税756億1,704万円、国庫支出金327億4,816万円、地方交付税115億円、市債258億5,780万円となっています。構成比は次のグラフのとおりで、自主財源である市税が歳入全体の43.3%を占めています。

#### 自主財源と依存財源

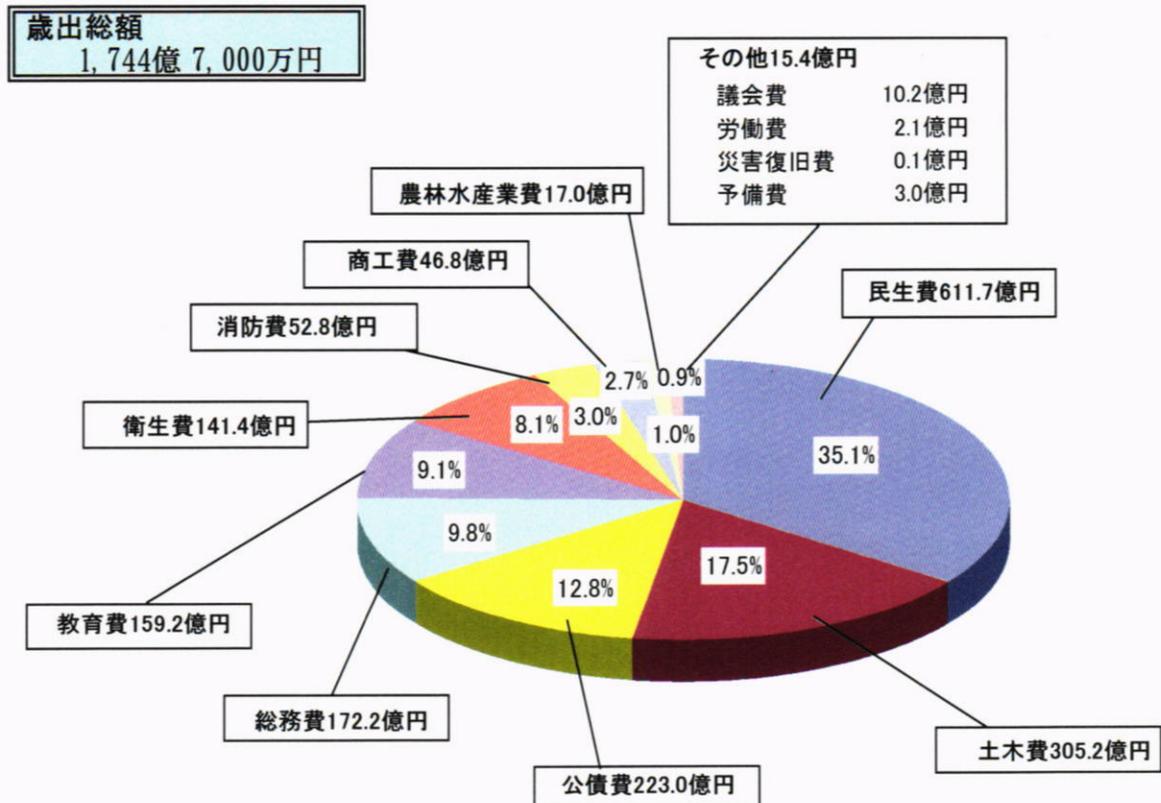
自主財源とは、地方公共団体が自主的に収入し得る財源をいい、地方税、使用料、手数料、寄附金、財産収入、繰入金、諸収入、繰越金等があります。歳入全体の中で、この自主財源の占める割合を自主財源比率といい、地方財政の自主性を高めるためにも、自主財源比率の割合が高いことが望まれています。

また、国や県より定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入を依存財源といいます。依存財源には、国庫支出金、県支出金、地方交付税、地方債等があります。この依存財源が大きいほどその団体の財政状況は脆弱であると考えられます。



### 歳出

歳出予算は、行政目的別に区分されており、その構成比は次のグラフのとおりで、主なものは、民生費611億6,873万円、土木費305億2,100万円、公債費222億9,998万円、総務費172億2,032万円、教育費159億1,573万円となっています。



## 市税の使い道

市税の収入額は756億2千万円です。これを市民一人あたりに換算すると約159,900円の収入になります。この収入がどのような経費に使われているかを示すと次のようになります。

	市税収入額 756.2億円の割り振り	市民一人当たり 159,900円の割り振り
<b>民生費</b> 保育所の整備、児童手当の支給、高齢者ワンコインバス、生活保護、障がい者医療費の助成など	201.2 億円	42,500 円
<b>公債費</b> 市が借入れをした市債(借金)の償還金	152.7 億円	32,300 円
<b>教育費</b> 幼稚園・小中学校の施設整備、文化財の保存整備、美術館、地区公民館等の管理運営費など	91.4 億円	19,300 円
<b>総務費</b> 庁舎の管理、戸籍住民基本台帳費、統計調査費、選挙執行費など	89.0 億円	18,800 円
<b>土木費</b> 市道の整備、住宅建設、区画整理事業、公園整備事業など	80.7 億円	17,100 円
<b>衛生費</b> 保健所費、ゴミやし尿収集及び処理経費、廃棄物処理施設整備費、環境対策費など	78.0 億円	16,500 円
<b>消防費</b> 救急車、消防車両等の購入、防火水槽の整備、消防団詰所の整備など	34.1 億円	7,200 円
<b>商工費</b> 中小企業者等への各種融資、計量関係費観光振興費など	12.1 億円	2,600 円
<b>議会費</b> 議員報酬、事務局事務費など	7.3 億円	1,500 円
<b>農林水産業費</b> 農業委員会の運営費、園芸振興費、畜産振興費、農道・林道整備、漁港整備など	7.0 億円	1,500 円
<b>その他</b> 災害復旧費、予備費など	2.7 億円	600 円